

「家族にはいろんな形があるんやで。  
誰にとっても家族はかけがえのないもんなんや。  
みんな心の声を聞いてみなはれ！  
ほんだら、これでええねんってことがわかるでえ。  
お、そろそろ一人で考える時間や。  
ほな、さいなら(寝るんちゃうで)」



## 家族の多様性、文化の多様性

世界各国の留学生やその家族が集まっていた1980年代半ばのカリフォルニアの大学キャンパスにある共同保育所での様子を紹介しましょう。

「部屋の奥では、イラン人やアメリカ人の保育士さんが乳児の世話をし、窓際には、アメリカ人のお母さんがギターを弾きながら幼児たちと歌い、庭ではイスラエル人のお父さんがボールを空に向かって蹴り上げて子どもたちがそれを追いかけている。中国系アメリカ人のお母さんは息子のお尻の蒙古斑がなかなか消えないことを気にして、スウェーデン人の保育士さんから説明されて安心している。」

国際結婚、ひとり親家庭、ステップファミリー…、保護者と保育者はさまざまな世帯の状況を抱えながら、スケジュールとルールを守り、それぞれの文化を自然に持ち込んで楽しんでいました。

家族にはいろいろな形があります。日本人は、マニュアルにない、自分と異なる事柄や人を避ける傾向が強いと言われています。しかし、さまざまな人々や文化とかわることは、私たちの心や生活を豊かにしてくれます。同じ経験や悩みをもつ人々とネットワークを築くことは重要ですが、そのネットワークをこえて踏み出してみること。また踏み出した人とかわることも大切ではないでしょうか。

学業を続けるために、1歳の娘と2人でカリフォルニアに留まった私は、ルームメート、友人、隣近所、スクールバスの運転手、留学生センター、日本人会など、いろいろな人々と機関に支えられました。そのかわりには、ほっとするおしゃべりから、娘を預かってもらうことまで、さまざまでした。私から頼んだことも、相手から手を差し伸べてもらったこともあります。家族の形は違っても、文化の軸となる価値観が異なっても、支えられたり、支えたりしながら、生きてゆく風景を広げましょう。

大阪商業大学教授 岩井紀子

東大阪市 人権文化部 男女共同参画課

〒577-8521 東大阪市荒北50番地の4 TEL 06-4309-3300 FAX 06-4309-3823

Eメール danjokyodo@city.higashiosaka.osaka.jp

制作：(株)オフィス・オルタナティブ 絵・山田真奈未

HOWとは…Higashi Osaka Womenの頭文字で、「お元気ですか?」「どのように生きていきたいですか?」というHOWの意味も込められています。

# 猫になあれ!

心の声をよく聞いてみなはれ～

家族には、いろんな形があります。  
人数も、国籍も、年齢や性別も、家族ごとに違います。

といっても、ちょっとわかりにくいですね。

それでは猫のりんすけと一緒に、  
いろんな家族を訪ねてみましょう。



How 別冊  
男女共同参画社会をめざす情報紙